



神功小だより

令和2年度 第3号
令和2年6月1日発行
文責 福西正剛

神功小学校の皆さん、久しぶりの学校生活がはじまりました。少しずつ学校に慣れていってくださいね。

4月の登校日や入学式の日には桜の花が満開でした。懐かしく感じるぐらい前になります。今は木の葉っぱの緑がとても鮮やかな季節になりましたね。

右の写真は、神功小学校の図書室の窓からのぞいた景色です。神功小学校が高いところにたっていることがわかります。今度、図書室に行ったときに窓から見てください。

さあ、新学期です。元気に遊んで、たくさん勉強してください。



段階的に学校が再開します。引き続きのご協力をお願いします。

保護者の皆さまへ

保護者の皆様には、これまで様々なご負担をおかけしてきました。また、登校日には、子どもたちを元気に送り出していただきありがとうございました。

最初の登校日には、多くの子どもたちは緊張した表情で門をくぐっていました。1年生は下駄箱の場所さえ覚えているだろうかと心配していましたが、ご家庭で予習をしてくださっていたのか、一つ一つを確認するように昇降口で靴を履き替えていました。上級生は友達との再会が一番だったようです。会話はぎこちないのですが、とてもうれしそうでした。

私たち教職員にとっても子どもたちとともに新たなスタートとなります。

改めて、よろしく願います。

○学校生活では、次の三つに慣れてほしいと思っています。

一つ目は、**学習活動**です。

二つ目は、学校における新型コロナウイルス**感染を予防する行動**です。

三つ目は、これから**徐々に増していく暑さ**です。

【感染症対策について】

本校においては、奈良市教育委員会が示している「学校再開時における新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策」（本校ホームページにて5月19日にお知らせしたもの）に沿って、三密を避けた活動や教室の換気、トイレ等の共有物の消毒、そして、手洗い等の周知など予防を徹底していきます。

ご家庭におかれましては、下記について、引き続きご協力よろしく願います。

- ①体調がすぐれない日は、無理をせず、体調が戻るまで登校させないでください。
- ②学校生活の途中で体調を悪くした場合は、別室で様子を見るとともに、保護者に連絡します。
- ③マスクを着用していると、子どもたちの表情が見えません。授業中や休憩中にしんどくなったときや困ったときには、決して我慢せず、必ず先生に申し出るようお子様に伝えてください。
- ④健康チェックカードで健康状態を確認してから、教室に入ります。ご家庭においては、毎日の健康チェックを欠かさず、チェックカードへの記入漏れ、押印忘れがないように願います。

【心と体の健康について】

3か月間の臨時休業が子どもたちのメンタル面や健康面に少なからず影響を与えてきたと思っています。また、学校が始まり、友達との関わりや学習が進むことで、これまでなかった不安が生じることもあります。お子様の様子を見ていただき、何か心配な様子があれば学校にご相談ください。

【神功小学校の学びについて】

本校の教育目標は『心を耕し、夢を育む子どもの育成』です。

さまざまな教育活動を通して、生涯にわたって主体的に学び続ける力を育てたいと考えています。

□学ぶということ

- 学ぶことは、小学校に入学した時から始まるわけではありません。家族との生活やこども園、保育園での生活や遊びの中で、すでに始まっています。だんだんと言葉を覚えたり、おもちゃやお道具を使って何かができるようになっていきます。
- 言葉を覚え出した子どもは、いっぱい伝えようとしますし、何かができるようになったら、もっと上手になろうとします。
- 不思議なことを見つけたら「どうして、どうして?」「なんで、なんで?」と聞いてきます。また、時間を忘れて夢中になって遊んだり、失敗しても同じことを繰り返し試したりします。
- つまり、「不思議なこと」に「なぜ?どうして?」と思ったり、「好きなこと」に「夢中」になったりすることが、「学びのもと」なんだと思います。

□学校の学び

- 小学校では、たくさんのことを学ばなければなりませんので、まずは、学習習慣を身に付けることが大切です。
- 小学校の学びを通して、例えば、文字や漢字を覚えて文章を読んだり書いたりできるようになります。九九や計算を覚えて面積を求めることもできるようになります。生活に役立てるということです。
- 学校は、教科の勉強だけをしているわけではありません。確かに教科書を使って学びますが、教科書の枠にないこともたくさん学びます。決して教科書を覚えることが目的ではありません。とはいえ、教科書には、子どもたちが学びに向かうための工夫がたくさんされています。ぜひ保護者の方も教科書を見てください。
- もう一つ学校での学びで前提となることがあります。それは、子どもたちは無限の可能性を持っていること、違った個性を持っていることです。
- さらに、集団で学ぶことも大きな意味があります。集団での学びを通して、自分以外の考え方ややり方、はじめてのことに会うことが大切です。
- 子どもは学年が上がるにつれて、周りの目が気になったり、失敗したら恥ずかしいと思ったりします。恥じらいはとても大事なことです。せっかく集団で学んでいるのですから、相手の考えに触れ、自分の考えをしっかりと伝えられるようになってほしいと思っています。幼いころのように「なぜ、どうして?」といった探究心をもっと出せたら学びが広がると思うのです。

□これからの学び

- 子どもの学びでは、子どもたちが「何ができるようになるのか」ということが大切になります。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">①自分から進んで学ぶ態度を身に付けること②基礎基本の知識や技能を身に付けること③身に付けた知識や技能を自分の生活にいかすことができること |
|--|

- また、「どのように学ぶのか」ということも大切です。「本物から学ぶ」「体験を通して学ぶ」「協働して学ぶ」「多様な人といっしょに学ぶ」「ICTを使って学ぶ」など多様な学びがあります。
- 学校で学ぶ教科を中心としたすべての学習は、子どもたちの生活や社会とおおきく関係があります。子どもたちの学びが深くなったり、ひろがったりすることで、子どもたちの生活が豊かになることを願っています。

□未来を切り拓く力

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業中に、子どもたちは生活に工夫をしてくれていたのではないかと思います。さらには、将来医療関係に従事したい、新薬の開発にかかわりたいなど、社会の役に立ちたいと思った人もいるのではないのでしょうか。多様な教育活動を通して、心を耕し、子どもたちがこれからの未来を切り拓く力を身につけていけるよう取り組みます。